

保幼小連携だより No.17

保幼小連携だよりでは、『宗像市幼児教育振興プログラム』に基づく保育所・幼稚園・認定こども園と小学校・義務教育学校との連携のための取り組みを紹介します。（市のHPにも掲載しています。）

（発行元）宗像市 子ども子育て部 子ども育成課 Tel.0940-36-3181

○第2回 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する研修会

11月16日に宗像市役所で宗像市保育所保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭研修会を開催しました。対象者は市内の保育園・幼稚園・認定こども園の年長児担任、小学校の一学年担任を中心に35名が参加しました。

宗像市教育委員会 地域教育連携室室長兼社会教育主事から、「接続カリキュラムの充実に向けて」について講義を行いました。

本研修会では、第2回と第3回を通して意見交換が深まるよう、可能な限り同じ先生に参加していただきました。講義やグループ協議では、保幼小の相互理解を図り、発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育及び学校教育の充実を図る研修となりました。



幼児教育の学び・育ちを学校教育へなめらかにつなぐ接続カリキュラムの必要性について、理解を深められていた先生方



どうすれば子どもたちが安心して過ごせるか、熱心に質問をされていました



園の年長児の担任と小学校一学年の担任の意見交換も活発に行われていました

安心をつくる時間のポイントについて意見交換を行いました。

スタートカリキュラム
～安心をつくる時間～

～参加者の声～

保育所・幼稚園・認定こども園の先生より

- ・小学校での様子や困りごとを知ることができてよかった。
- ・小学校の先生が、子どもたちが安心して学校生活を送れるように配慮してくださっていることに感謝。
- ・子どもたちの安心のため、という言葉は嬉しい。

小学校・義務教育学校の先生より

- ・子どもたちにとって安心感、楽しさ、居場所、教師の明るさはとても大事なことで改めて感じた。
- ・新しい環境に慣れるための「サークル対話」という方法が印象に残った。
- ・「保育の日」に見学に行つて様子を見て学びたい。

○第3回 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する研修会

1月26日に東海大学付属自由ヶ丘幼稚園で宗像市保育所保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭研修会を開催しました。対象者は市内の保育園・幼稚園・認定こども園の年長児担任、小学校の一学年担任を中心に36名が参加しました。

保育参観と意見交換を通して、保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・義務教育学校における教育、保育活動についての相互理解を図ることができました。

また、第2回と第3回と連続で行われたスタートカリキュラム作成に向けてのグループ協議では活発な意見が行われ、充実した時間となりました。



子どもたちが安心して、小学校生活をスタートできるよう、幼児教育と小学校教育の連携・接続が強化されるためには、まず先生方が子どもたちの姿を見ることが大切



保育参観の後は、参加された先生からの質問に、クラスの担任が答えていただき、さらに理解が深まっていました

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

- ・健康な心と体
- ・自立心
- ・協同性
- ・道徳性、規範意識の芽生え・社会生活との関わり
- ・思考力の芽生え
- ・自然との関わり、生命尊重
- ・数量や図形、標識や文字などへの関心、感覚
- ・言葉による伝え合い
- ・豊かな感性と表現

～参加者の声～

保育所・幼稚園・認定こども園の先生より

- ・園での悩みや小学校での困り感を話し合うことができ、とても良い機会になった。
- ・子どもに対する温かい雰囲気づくりが素晴らしく、子どもたちが自然体で発言や活動ができるように感じた。
- ・いろいろな園や学校に見学に行って実際に子どもたちの様子を見たい。

小学校・義務教育学校の先生より

- ・子どもたちに対する温かい雰囲気づくりが、素晴らしかった。
- ・子どもたちが、楽しく安心して学べる環境を整えたいと思った。
- ・先生の子どもへの関わり方を見て、話を聞きたくなるような活動内容や促し方が大切だと感じた。